令和５年度 総合型選抜Ⅰ期 問題（課題作文） 生活環境学科

設問１　成人年齢も 18 歳に引き下げられ、契約トラブルに巻き込まれることも想定されます。次の文章を読んで、どのようなことに気を付けるべきかを 400 字以内で記述してください。

見出し：

４月から成人年齢引き下げ　契約トラブルどう防ぐ（秋田魁新報・朝刊　2022 年３月 16 日）

改正民法の施行により、４月１日から成人年齢が 20 歳から 18 歳に引き下げられる。自らの意思でさまざまな契約ができるようになる一方、懸念されるのが消費者被害の増加。横手市の高校で開かれた消費者教育の授業に参加し、トラブルに巻き込まれないための対策について学んだ。

成人年齢の引き下げに伴い、県内の高校でも消費者教育に注目が集まっている。横手市の平成高校では先月、３年生 93 人を対象に外部講師を招いた授業が行われた。消費者への情報提供に取り組む生命保険文化センター（東京）生活情報室の南武志さん（39）が講師を務め、４月からの変更点などについてオンラインで解説した。生活上大きく変わるのは、親などの保護者の同意がなくても、自らの判断でさまざまな契約ができるようになる点。具体例として▽車など高額な商品を購入する際のローン▽クレジットカード▽サプリメントの定期購入▽携帯電話▽不動産賃貸―などを挙げた。従来、未成年が親の同意を得ずに交わした契約は、民法の「未成年者取消権」で取り消すことができる。しかし、４月以降、18、19 歳はこの取消権を行使できなくなる。南さんは「契約には責任が伴うことをしっかり自覚し、お金に関する知識を持っておくことが必要」と強調。安心して消費生活を送るポイントとして、四つ挙げた。

お金の知識を身に付ける　迷ったら周囲に相談を

・使いすぎに注意
・リスクに備える
・安易にアクセスしない
・内容をしっかり確認

設問２　次の文章を読んで、①「カーボンフットプリントとは何か」についての説明と、②「貴女が生活の中で行える二酸化炭素の排出量減少に繋がる行動」について 400 字以内で記述してください。

見出し：

CO_2 量商品表示普及へ一歩（中日新聞・朝刊、2022 年５月６日、共同通信配信）

環境省は本年度、原材料調達や生産、廃棄の各工程で排出される二酸化炭素（CO_2）の総量を商品に表示する制度の普及に本腰を入れる。…中略…　各工程で生じる温室効果ガスを CO_2 換算で表示する制度は「カーボンフットプリント」と呼ばれる。政府は十年以上前に普及に乗り出したが、浸透していない。生産時の電力消費や商品の輸入など工程ごとに排出量を算定するのにコストや手間がかかるのが主な理由だ。消費者の認知度も低く「積極的に表示しても『こんなに排出しているのか』という印象を与えかねない」と危惧する企業もある。一方、日本ハムは、パッケージの裏面に「四百二十グラム」と一パック当たりの排出量を表示してロースハムを販売している。…中略…

二酸化炭素の排出量：国立環境研究所などの推計によると、住宅での電気使用や自家用車での移動、食事といった生活に伴って国民１人が１年間に排出する温室効果ガスは、二酸化炭素換算で平均 7.1 トンに上る。住宅を二重窓にすると年間 50 キロ、マイカーを電気自動車に変更すると 240 キロ、地元産の野菜や果物を食べると 10 キロの削減効果が見込めるという。